



品種の特徴を確認しながら食べ比べる参加者

### 町内産のコメを食べ比べ 品種ごとの特性や違いへの理解を深める

「猪苗代のお米」試食会は3月16日、町役場で開かれ、町農業委員や町食生活改善推進委員など町内関係者が参加しました。町内産のコメを食べ比べて品種ごとの特性や違いへの理解を深めてもらい、広くPRしようと町農業活性化協議会が開催しました。試食したのは、ひとめぼれ、里山のつぶ、天のつぶ、こしひかり、つきあかり、ゆうだい21の6品種。参加者からは、食べ慣れている品種が高評価を得ていました。

### スノーボードプロ登録資格を取得

野崎紗希さんが二瓶町長に報告

3月に行われた第44回J S B Aスノーボード選手権大会のストレートジャンプ競技で3位に入賞した猪苗代第二小6年(当時)の野崎紗希さんは3月17日、町役場を訪れ、二瓶盛一町長にJ S B A(日本スノーボード協会)プロ登録資格の取得を報告しました。同大会で、各種目のオープン男女上位者に、プロ登録資格が与えられます。野崎さんは「町内の競技者を増やすため、いろいろな大会に出てカッコいい滑りをしたいです」と話しました。



ライセンス取得を報告した紗希さん(右)と母親の美奈さん



前列右から石井さん、長沼さん、小野さん

### ミニバスケットチームが全国大会へ 「磐梯ブラックダイヤモンド」U12男子に激励金

「磐梯ブラックダイヤモンド」U12男子は3月17日、町役場を訪れ、二瓶盛一町長に第57回マクドナルド全国ミニバスケットボール大会への出場を報告しました。町内から全国大会に出場する猪苗代小6年の石井颯真さん、同小5年の小野弥琴さん、猪苗代第二小6年の長沼橙空さんの3人に、二瓶町長が激励金を手渡しました。同チームは、昨年12月に行われた県U12ウインターカップ選手権で優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

※学年は全て当時

### 火災現場で人命救助に当たる

小椋陽子さんに猪苗代消防署から感謝状

猪苗代消防署長感謝状贈呈式は3月18日、同署で行われ、長谷川芳和署長が小椋陽子さん(樋ノ口)に感謝状を贈りました。小椋さんは、昨年12月12日午後10時25分ごろに近所で発生した民家火災で、80代女性を救助。自分よりも10号ほど背の高い女性を救助した小椋さんは「助けなきゃという気持ちが強くて、背負う重さも感じませんでした。助かって良かったです」と話し、長谷川署長が感謝の気持ちを伝えました。



長谷川署長(左)から感謝状を受けた小椋さん(中央)



世界最高米に選ばれた神田さん(左)

### 世界最高米の原料米に選ばれる

神田忍さんが生産するコメが世界一高級なコメに

コメの食品・機械メーカーの東洋ライスが取り組む世界最高米事業に会津猪苗代カンダファームが生産する「ゆうだい21」が選ばれました。代表の神田忍さん(名古屋町)が2月24日、町役場を訪れ、二瓶盛一町長に採用されたことを報告。世界最高米は、昨年12月に開かれた「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で金賞を受賞した玄米から同社が5品を選び、熟成、ブレンドなどの工程を経て、世界一高級なコメとして発売されます。

### 長年にわたり統計調査に尽力

渡部宗揮さんが総務大臣表彰

長年にわたり統計調査に尽力したとして総務大臣表彰を受けた渡部宗揮さん(島田)は2月25日、町役場を訪れ、二瓶盛一町長に受賞を報告しました。渡部さんは国勢調査に7回、農林業センサスに8回、このほかにも数多くの調査に従事され、その功績が認められました。渡部さんは「統計調査は、国や自治体の政策立案などの基礎資料となる大事な調査です。今後もできる限り調査員として協力していきます」と話しました。



二瓶町長に受賞を報告する渡部さん(左)



賀寿などを受けた後藤さん(前列中央)

### 後藤ヨシノさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

2月21日に100歳の誕生日を迎えた後藤ヨシノさん(酸川野)への賀寿贈呈式は2月25日、いなわしろホームで行われ、家族らが長寿を祝いました。野矢実副町長が、県からの知事賀寿と会津漆器の木杯、町からの賀詞と敬老祝金を手渡した後、施設から花束が贈られました。後藤さんは「みんなの顔が見られてうれしい」と笑顔で話していました。後藤さん、いつまでもお元気にお過ごしください。

### 第二小の児童が防災意識を高める

「3.11を忘れない集会」を開催

猪苗代第二小学校は3月11日、同校で「3.11を忘れない集会」を開きました。東日本大震災以降に生まれた世代が家族から当時の話を聞いて震災を知る機会を設け、日ごろからの防災意識を高めてもらおうと開催しました。磐梯山ジオパーク協議会がコーディネーターを務め、町社会福協議会の職員が震災当時の避難の様子などを話しました。このほか、児童は避難所体験や非常食をみんなで分け合う共助の大切さを学びました。



足りない非常食をどう配分するか話し合う児童